

心のサポーターの養成

心のサポーター養成講座・指導者養成講座の開催 【資料3-2】

入院者訪問支援事業

精神科病院入院者（市長同意による医療保護入院）の希望に基づき訪問支援員が訪問、傾聴や情報提供等を行う（大阪府、大阪市、堺市合同） 【資料3-3】

普及啓発

- 地域移行：病院職員、入院者、地域支援者等を対象に啓発活動を実施。
- メンタルヘルスデーに合わせた啓発活動を開始。

※：ピアサポーターと協働

	内容	対象者	6年度	7年度（令和8年1月末現在）
地域移行	病院職員研修	病院職員	3病院 3回 延 54名（一部※）	4病院 4回 延 66名（一部※）
	個別支援時の事業説明		7回	13回
	茶話会	病院職員・入院者		2病院 3回 延 96名 ※
	媒体作成	病院職員・入院者・地域支援者		入院者向けパンフレット作成・配付
	地域交流会	病院職員・入院者・地域支援者	1回 46名	1回 開催予定 ※
	地域支援者向け研修	地域支援者		区自立支援協議会等 4回 延 120名
	区相談員向け研修	各区相談員	研修会・業務検討会 3回	研修会・業務検討会 3回
メンタルヘルス	メンタルヘルスデー啓発	一般市民	ポスター掲示（こころ）	ポスター掲示 ティッシュ配付（こころ・区）

高齢者施設等入所モデル事業

- 高齢者施設等入所モデル事業を開始。【裏面参照】
- 福祉局保護課、精神障がい者地域生活移行推進事業受託事業者と連携して対象者の把握を行う。
- 精神障がい者地域生活移行推進事業・地域移行支援の相談があったケースについて、対象者を抽出（11人）、アプローチするが現時点では事業に結び付いていない。

<内訳>（R8.1月末現在）

	人数
支援中死亡	1
本人拒否	4
その他	1
支援中	5
合計	11

⇒精神科病院入院者の高齢化の実態を踏まえ、引き続き対象者の抽出とアプローチを継続する

高齢者施設等への入所を希望する方への支援モデル事業

高齢者施設等への入所を希望している方が適切な候補先選定が行えるよう『入所施設調整会議』を設置します。

◆目的

退院意欲があり退院先として入所施設等を希望しているにもかかわらず、その選定が困難な方について、本人の状態や希望に合った適切な入所先の選定や入所に必要な調整等を行う「高齢者施設等への入所を希望する方への支援モデル」において入所施設調整会議を開催し、必要な支援を行う。

◆内容

地域生活移行推進事業・地域移行支援、被保護精神障がい者等地域移行支援事業で把握している精神科病院入院者で、高齢者施設等への入所検討を必要とする方について、入所施設調整会議を開催し、高齢者施設等への入所のための支援を行う。

◆構成員

こころの健康センター
保護課
大阪市老人福祉施設連盟の代表者等（アドバイザー）

◆検討事項

- （1）高齢者施設等への入所の可否
- （2）本人の状態等に見合った適切な入所施設（種別）の見立て
- （3）入所施設候補の選定

◆対象者

次の事業で把握している精神科病院入院者で、高齢者施設等への入所検討を必要とする方

- （1）地域生活移行推進事業・地域移行支援
- （2）被保護精神障がい者等地域移行支援事業

◆開催頻度

対象となる事例があるときに随時開催